

校報かめのこ

福生六小ホームページ <https://fussa-6e.hs.fussa.school/>

- 考える子
- め めげない子
- の 伸びる子
- こ 心豊かな子



うれしい出来事

福生市立福生第六小学校
校長 富永 大優

早いもので、8月末から始まった2学期も残すところあと3週間余りとなりました。夏の猛暑から始まった今学期も、今では木枯らしが吹き、寒さが身に染みる季節です。インフルエンザなどの感染症も増加してきていますので、ぜひ健康に気を付けて年末年始を迎えてほしいと思います。

さて、2学期は運動会や校外学習など、たくさんの行事がありました。また、日々の学習にもじっくり取り組める期間でした。その中では、できるようになった喜びや、最後までやり遂げた達成感を味わう場面が多くありました。そのときの子ども達の笑顔や歓声は、心から湧き出てくる素敵なものでした。3学期も、一人でも、みんなともできることを増やしていってほしいと思います。

ところで、最近とてもうれしいことがありました。PTAの主催で行い始めた落ち葉集めをきっかけに、子ども達が自主的に落ち葉集めをしていることです。登校してから8時のチャイムが鳴るまでの間ですが、熊手を手に落ち葉を集めたり、集めている子を笑顔で応援したり、足で落ち葉を寄せたりと、それぞれができることをしています。その子たちの素晴らしいところは、誰かに頼まれたわけでもなく、褒められようとしたわけでもなく、楽しみながら取り組んでいることです。「集めたのを見てください。」「熊手を使っていいですか。」そんな言葉が、笑顔と共に朝からあふれています。こういった姿は、給食の準備のときや、掃除の時間にもよく見かけます。誰かに見られているからではなく、「やりたいからやる」「楽しいからやる」「気持ちがよいからやる」という純粋な気持ちと充実感をこれからも大切にして欲しいです。その気持ちや充実感が、やがて地域や社会のためにできることを考え、取り組むことにつながっていくのかもしれません。未来をつくる六小の子ども達が、自然に奉仕活動に取り組んでいることを、とてもうれしく思います。